

2021年7月9日

電通、スタートバーンおよび電通イノベーションイニシアティブと協働で NFT事業の構築支援サービスを開始

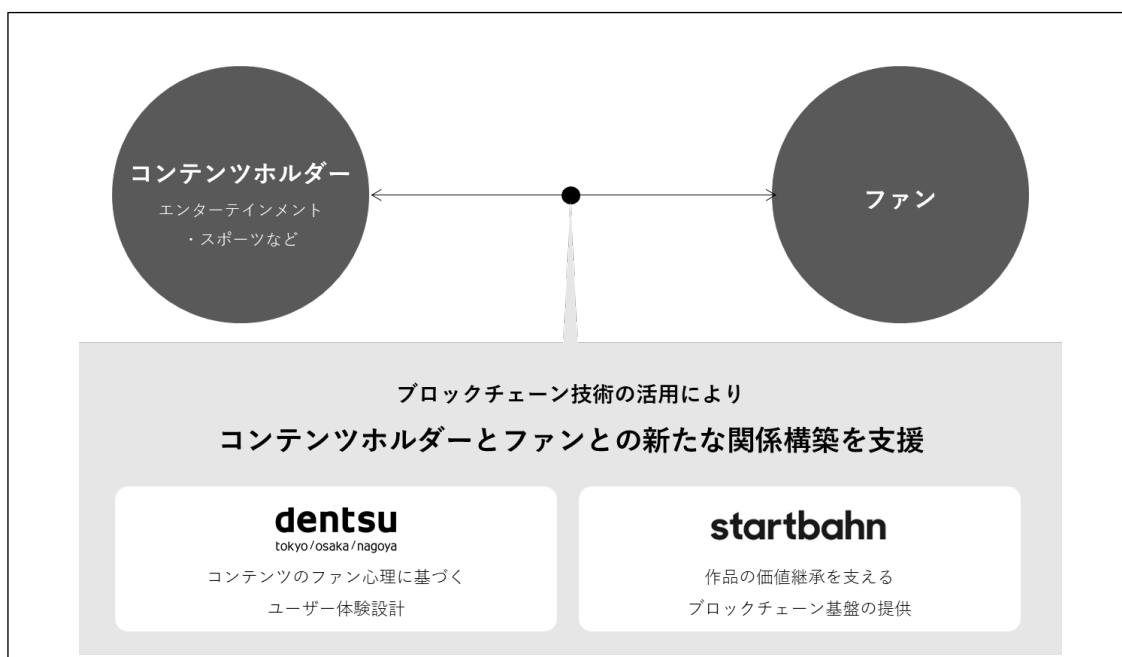
ーブロックチェーン活用によりコンテンツホルダーとファンとの新たな関係構築のためにー

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長：五十嵐 博、以下：電通）は、電通ジャパンネットワーク傘下でR&Dを推進する組織「電通イノベーションイニシアティブ」とアート作品のブロックチェーン流通基盤構築および証明書発行事業を手掛けるスタートバーン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：施井 泰平、以下：スタートバーン）と協働で、アニメやエンターテインメント、スポーツ領域などのコンテンツホルダーを対象に、NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）事業の構築支援サービスを開発、本日より電通およびスタートバーンが提供を開始します。スタートバーンのブロックチェーン/NFTの技術と電通が長年培ってきたマーケティングの知見を掛けあわせ、コンテンツホルダーやクリエイターとファンの新しい関係性、コミュニティの構築を支援します。

コピーが簡単なデジタルの分野にあって、NFTはブロックチェーン技術を活用して改ざんを防止し、コンテンツの所有者であることを証明でき、2次的、3次的な取引ごとに著作権者（制作者/アーティスト）に収益を還元できる仕組みが作れることから注目を集め、関連市場の拡大が見込まれています。しかし、各社のマーケットプレイス同士に互換性がなく、それらをまたいで当初の情報や設定ルールなどが継承されないなどの課題があります。この課題を解決し、さらにNFTを活用してよりよいコンテンツ体験を提供するため、スタートバーンとの協業による当サービスの提供に至りました。

ファン心理やマーケティングに知見を持つ電通と、複数のマーケットプレイスを横断したアート作品の価値継承を支えるブロックチェーン基盤を提供するスタートバーンがタッグを組むことで、コンテンツホルダーとファンとの関係性がより良くなるようなユーザー体験の設計、NFT発行・販売の戦略策定、UI/UXデザイン、NFTの発行・販売に必要なシステムおよびインターフェイスの企画開発まで、NFT事業の構築に必要なサービスを一通り提供します。また、コンテンツホルダーの持つコンテンツの特長や方針に合わせたNFT事業構築を支援します。

電通およびスタートバーンは、ブロックチェーンの技術を活用することで、コンテンツの価値を守りながら、新しいファン体験や、コンテンツホルダーやクリエイターとファンとの新しい関係構築の支援を目指します。



<スタートバーンのNFTインフラシステムの特長>

- ①コンテンツを長期的に守り育てるために重要な2次流通管理の仕組み
 - ・発行者やコンテンツの情報に加え、利用規約や還元金の設定がサービスをまたいで継承可能
- ②ユーザー（ファン）に暗号通貨を意識させない仕組み
 - ・ユーザー側でウォレットを準備する必要がなく、メールアドレスやSNSアカウントでログイン可能
 - ・法定通貨で決済可能（ガス代は運営サービス側が肩代わり可能）
- ③安価でサステナブルな仕組み
 - ・新たに「Polygon」を採用することで、取引コストおよび電力消費量を削減
- ④モノとの紐付け
 - ・ICタグの技術を活用することで、デジタルだけでなくリアルなモノとNFTの情報の紐付けが可能

<電通の役割>

- ①NFTのUXデザインコンサルティング
 - NFT化する対象物のデザイン
 - NFTを保有することで得られる特別な体験や権利などのユーティリティーデザイン
 - サービスをまたいだNFTのユーティリティーデザイン
- ②コンテンツやブランドの世界観を大切にしたいUIの企画開発

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部
松島、曲山 TEL:03-6216-8041
Email : koho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コンテンツ・ビジネス・デザイン・センター
武田、馬場
Email : cbdc-info@dentsu.co.jp

株式会社電通 スポーツビジネスマネジメント室
安淵、村木
Email : sportsdx@dentsu.co.jp